

すくわくプログラム

9月28日（月）

今日のテーマ

にじ組「音の違いを感じる
～ヴァイオリンとヴィオラ～」

テーマ設定理由

新しい音色に触れ、音の違いを感じるため。楽器の素材を知り関心を持ったり、想像を膨らませたりするため。

スケジュール

- ・ヴァイオリンの音や弓の素材を知る
- ・ヴァイオリンとヴィオラの違いを知る
- ・打楽器合奏「山の音楽家」
- ・冒険遊び「海のヒトデやかめ」
- ・絵本の読み聞かせとバイオリン
- ・振り返り、記念撮影

準備物

- ・絵本
- ・ヴァイオリン
- ・ヴィオラ
- ・スカーフ
- ・打楽器

くじらになってみんなを食べよう！
あれ？わかめとヒトデばかりだぞ？

ぼくはわかめになっているよ！

少し緊張するけど
演奏してみよう♪

ヴァイオリンの音色と
一緒に絵本を読もう。

ブルドッグたんていだ
って！星はどこかな？

海の上をカモメに
なって飛びます。

ぼくのカモメは低
いところ、海の上
を飛んでいるよ！

一番星は
どこかな？

一番星
みつけた！

りす役になって音を
鳴らします！

みんなで山の音楽
家を演奏しよう！

子どもの姿と気付き

講師がヴァイオリンを見せると、「知らない」「見たことある」と言葉が飛び交い興味を持ち、音色が響くと集中して耳を傾ける姿が見られました。素材の話になると、最終的に「馬のしっぽ」であることに気付き、不思議そうな表情を浮かべていました。

打楽器を持った子供たちと、講師のヴィオラやヴァイオリンと合奏する中で、音の違いを知ったり、音の響きを味わったりしました。合奏の際は自分たちで楽器を選択したり、友だちと話し合い動物の役柄を決めたりしましたそれぞれの役割があるからこそ一つの活動が成り立つことを音楽を通して経験することができました。

今回はピアノ、今回は弦楽器、と様々な楽器の音色に触れる中で、「次は何か？」と期待を膨らませる場面が見られました。次回はパーカッションの音楽家が来援される予定です。